

## 天神橋筋六丁目駅(地下鉄堺筋線・谷町線)

## 哀しき人柱伝説の地・長柄を歩く

天神橋筋六丁目駅(阪急千里線)

「大阪あそ歩マップ集」  
その3 No.110

## 地下鉄・阪急天神橋筋六丁目駅

## ① 国分寺

- 齊明天皇5年(659)、僧・道昭が長柄寺礎宮旧址に一字を建立したのがはじまりといひます。天平13年(741)には「摂津之国国分寺」(金光明四天王護国寺)となりました。幾度も戦災に遭い、現在の昭和金堂は昭和40年(1965)に落慶されたものです。

## ② 淀川天神社

- 国分寺村の氏神です。天平10年(738)、行基が訪れた際に天穗日命を祀って「天神社」と称したとあります。現在の神殿(瓦葺流造)は享保年間(1716~36)の建築と推測されています。



## ③ 鶴満寺

- 奈良時代に大和で創建され、宝暦3年(1753)に豪商・上田宗右衛門の発願で現在地に移転したといひます。渡来の経緯は不明



- ですが、太平10年(中国年号。1030年)在銘の朝鮮銅鐘があり、高麗時代初期の名品として国指定の重要文化財です(非公開)。
- 上方落語「鶴満寺」の舞台としても有名です。

## ④ 鶯塚

- 貞享3年(1686)在銘の五輪塔があります。「長柄の長者の娘が死んで、鶯が悲しみのあまりに後を追うように死んだので塚をつくった」「孝徳天皇の女官・鶯式部の墓」といった伝説があります。

## ⑤ 長柄八幡宮

- 永仁4年(1296)に石清水八幡宮から勧請し、慶長15年(1610)に片桐且元が本殿などを改築したといひます。ここの地車囃子は「長柄流」と呼ばれ、大坂城完成の祝いで奉納された際は、秀吉が大いに喜んだといひます。

## ⑥ 光明寺

- 義人・松野登十郎の墓があります。文政3年(1820)、江戸から南長柄の田安家領地代官を命じられて赴任してきた松野登十郎は、南長柄が大飢饉となった際に農民の苦境を見かねて、田安家に年貢の軽減を願ひ出ました。しかし拒絶され、上申書を書いて代官屋敷で割腹。その後、松野家は取り潰しになりますが、年貢は3年間免除され、領民は救済されました。

## ⑦ 長柄橋

- 推古天皇21年(613)に、暴れ川の淀川に橋を架橋するために人柱を捧げようとした村人たちが、垂水の長者・巖氏に意見を聞く

- と巖氏は「袴に横継ぎを当てている者を人柱にすればよい」と進言しました。それは誰だろうかと人探しをすると、なんと巖氏自身で、こうして巖氏は人柱となり、無事に長柄橋が架橋されました。「難波なる ながらの橋もつくるなり 今は我身を何にたとへん」(いせ)「春の日の ながらの濱に 船とめて いつれか橋と とへど答へぬ」(恵慶法師)など、長柄をモチーフにした数々の和歌が伝わっています。

## 地下鉄・阪急天神橋筋六丁目駅

